グラグラ揺れたら、ぴたっと電気を止める

グラぴた スイッチ

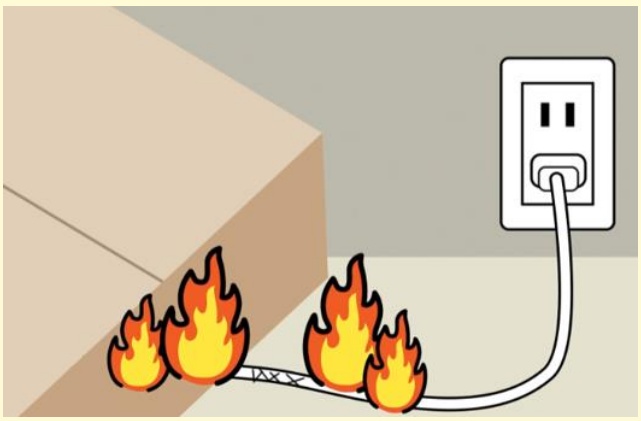
を設置しましょう！

グラぴたスイッチ（感震ブレーカー）は、
地震を感知し、電気を止めて火事を防ぐ機器です。

電気火災の事例

散乱した可燃物と
電気機器の接触による出火

断線した電気コード等からの出火



地震による電気火災から、自分と家族と地域を守りましょう！

グラぴたスイッチ

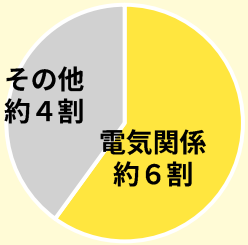
東京都

グラぴたスイッチを設置して、出火による被害を防ぎましょう

地震時における火災の発生原因

阪神･淡路大震災や東日本大震災では、出火原因が特定されたもののうち、約6割が電気火災でした。※
電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことを言います。
※「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会報告書について（概要）」より

大規模地震時における火災の発災原因



電気火災の発生プロセス

電気火災事例①

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱

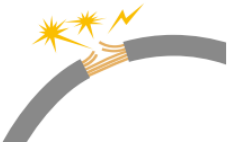
停電した状態から通電し、ストーブが作動

紙類に着火、火災が発生

電気火災事例②

家具が転倒し、「電気コード」が下敷引っ張りで損傷

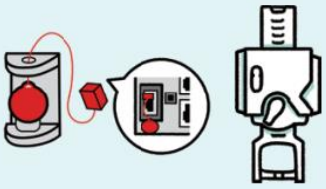
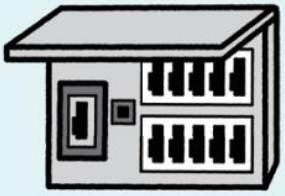
通電の瞬間、コードがショート



散乱した室内で、近くの燃えやすいものに着火

グラぴたスイッチ（感震ブレーカー）の種類と主な特徴

さまざまな製品のタイプがあるので、製品ごとの特徴・注意点をご確認のうえ、適切に設置しましょう

タイプ	コンセント型		簡易型	分電盤型	
	特定機器遮断型	一括遮断型		内蔵型	後付型
イメージ					
遮断範囲	選択した機器のみ	屋内全ての電気供給			
設置工事	不要	製品による	不要	必要	
遮断までの時間	なし	製品による		あり（３分程度）	

グラぴたスイッチ設置の際の留意点

☑停電時に作動する足元灯や懐中電灯等の照明器具を常備し、夜間の照明を確保しましょう。
☑医療用機器等を設置している場合、停電に対処できるようにバッテリー等を備えましょう。
☑ガス漏れや、屋内外の配線に損傷がないことなどを確認し、安全確保をしたうえで復電しましょう。